

授業と評価の年間計画			
教 科	保健体育	科 目	体育
使用教科書(発行所)		現代高等保健体育(大修館)	
履修条件 対象生徒	必修 普通科・理数科 1年		
学習目標	(1) 日常的にスポーツに親しむなど、生涯体育の実践を目指して、積極的に運動とかかわるために必要な能力や態度を身に付ける。 (2) 体力の向上を目指し、仲間と協力し、助け合いながら心身を鍛える。 (3) 健康・安全に関する基礎的な知識を習得し、より健康的な生活を送るための実践力を身に付ける。		
学習方法	【授業】 南高体操・補強運動・集団走は毎時の導入として実施し、補強的にフリー走を行う。集団行動の様式を身に付け、基礎体力の向上を図る。主運動においては、様々な種目に関する技能の向上や、スポーツを楽しむために必要な社会性を身に付ける。 【補習・その他】 事情により見学する場合は、講座担当者に申し出て、活動の指示を受ける。 長距離走の練習期間における見学・欠席については、特別な理由がある場合を除いて補習を実施する。		
学習計画 と ねらい	1 1学期 (1) 期末考査まで ア 体づくり運動 イ 体力を高める運動 ウ 球技 (ア) バレーボール (イ) ハンドボール エ 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> 体づくり運動、体力を高める運動の目的を理解し、発達段階に応じて適切に実践する。 集団の中で協力し合いながら活動する態度を身に付ける。 球技種目の特性を理解し、個人及び集団の技能を高める。 	
	2 2学期 (1) 期末考査まで ア 球技 (ア) ソフトボール (イ) バスケットボール イ 武道(柔・剣道)・ダンス 器械運動選択 ウ 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> 球技種目の特性を理解し、個人及び集団の技能を高める。 武道の基本動作、基本技を習得し、礼儀作法を身に付ける。 器械体操の基本、基礎技術を習得する。 ダンスの基本的な動きを身に付け、作品を創作する。 	
	3 3学期 (1) 学年末考査まで ア 陸上競技(長距離走) イ 球技 (ア) 卓球 (イ) テニス (ウ) バドミントン ウ 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> 校内マラソン大会に向けて、自己の能力に応じた目標や課題を設定し、長距離走に取り組む。 球技種目の特性を理解し、個人及び集団の技能を高める。 	
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	運動実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論や、課題解決に必要な基礎的事項や、運動の科学的な理解に基づき、合理的に練習を行い、各運動の特性に応じて段階的に技能を身に付けることができている。	個人や集団の課題に応じて、運動の取り組み方や計画を工夫している。様々な場面で適切に判断し、課題解決を目指して考え、それらを的確に表現できている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。
評価方法	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に判断して評価する。		
その他			